

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

令和6年度 第4号

<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/support.html>

当校 HP に
も掲載中!

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町2-1-13

TEL 0258-38-0210 (通級指導教室)

*不在の場合5コール程で代表に自動で繋がります。

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

発行：令和6年7月 文責 柳原

暑い毎日が続きます！適度に休憩を！

雨が降ったり、とても暑かったりを繰り返し、湿気と汗で補聴器が心配なお天気です。生徒には本通信の6月号や他のたよりで伝えましたが、補聴器は精密機械なので水や湿気は故障に繋がる大きな要因です。使用している児童生徒の皆さんは、汗を拭く、補聴器も拭く、補聴器を外したら専用の乾燥ケースや乾燥機で湿気を取ることをお願いしたいと思います。補聴器カバーを使用している場合は、付けっぱなしにしていると、カバーで吸い取った汗が補聴器の湿気となるので、適度に切り替えることをお勧めします。防水タイプ(水着の生地が材料)もあります。ご検討ください。

さて、湿気と暑さには、人間も疲れてしまいます。難聴があると、「情報を得よう!」とより集中して聞こうとしたり、目をこらしたりして、疲れやすいとされています。室内であれば温度や湿度を調整し、目や耳を休め、早めに就寝して、次の日に元気で活動してほしいと思います。



夏は補聴器も体も気をつけて！対策シリーズ

頭髮や補聴器の汗を拭こう！



乾燥ケースやカバーの利用



湿度や温度の管理



目や耳を休めよう。



早めに就寝しよう。



長岡聾学校「夏のきこえ相談会」7/23(火)~8/6(火)県特別支援教育推進室から中・上越の小中・特別支援学校、高校(高校は今年度より)へ6月上旬に案内が届いています(当校でなく、県特別支援教育推進室からの発送です)。校内できこえが気になるお子さんへご紹介の上、お申し込みは児童生徒の在籍の学校からお願いいたします。この時期の他に、乳幼児から高校生まで1年間相談を行っています。すでに何件かお申し込みやお問い合わせをいただいております。7月5日(金)までにご連絡をお願いいたします。



「きこえ友の会(片耳)」を開催しました。

「難聴」といってもいろいろです。

種類としては「1 伝音性難聴(外耳、中耳が主な原因)」、「2 感音性難聴(内耳が主な原因)」、「3 伝音性難聴、感音性難聴の混合」が主なものとして知られています。

程度としては、軽度、中等度、高度、重度に分けられます。また「片耳難聴(右側のみ、左側のみ)」、「突発性難聴(急にきこえにくくなる、早めの受診で改善の可能性)」、「機能的(心因性)難聴」、最近よくいわれている、「LiD(聞き取り困難)/APD(聴覚情報処理障害)(聴力は正常範囲だが、言葉のききとりが難しい)」などの様々な種類があります。生徒によっては、他の難聴のある人の話題がある時に、自分ときこえ方が違うと、今ひとつピンと来ないことがあります。支援方法も若干違うこともあります。逆に言うと、きこえ方が同じ人同士だと、共感できることも多いようです。

「自分と同じきこえの人に会ってみたい」との要望があり、片耳難聴の生徒で集ってみました。卒業生にも声をかけ、合計4人が集まりました。自己紹介を終えてから、

「きこえあるある」(今までに経験したきこえ方)を記入しました。

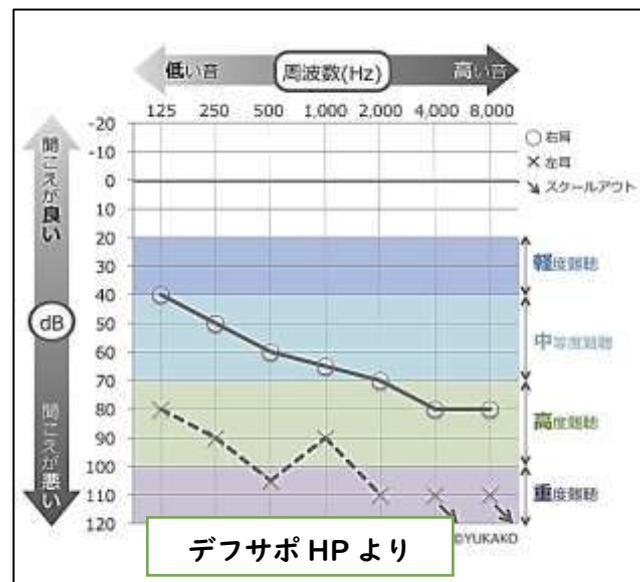
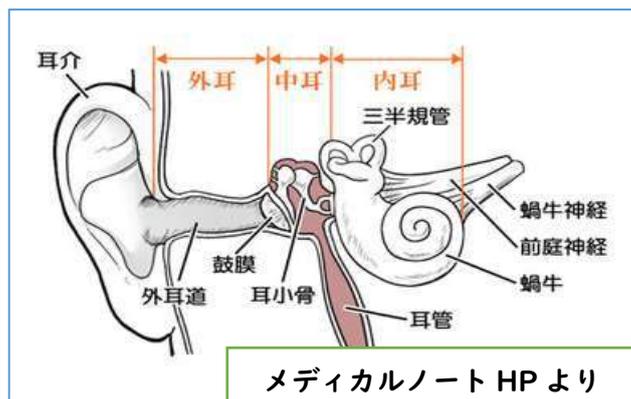


←「きこえあるある」記入の様子

「きこえあるある」の内容としては

「車の音が近くに聞こえて、危ないと思い、振り向いたら遠くだった」

「右から話しかけられていると思って右を向いたら、いなくてよく探したら左側にいた」などの話題が続き、そのたびに全員が大きくなずいていました。担当者も「方向が分からないことがある」ということはしていましたが、リアルな話で初めて聞き、全員が同意していたのには大変驚き、改めて大きな学びとなりました。片方きこえているから大丈夫と思われることが多いと思われそうですが、不自由さを感じていることもあるのではと気づかされました。生徒からは「なるほどと思うことがたくさんあって良かった」「片耳難聴がより身近に感じて安心した」「きこえ方は共感することが多かった」「いろいろと話せて良かった」などの感想がありました。



新潟県初！ LiD/APD(聞き取り困難/聴覚情報処理障害)

当事者の会が開催されました！

この会については、実施前、実施後に新潟日報に掲載され、ご存じの方もおられると思います。開催前に、何回か主催者の方と連絡を取り、当日参加してみました。15名ほどの参加でした。新潟日報に事前に掲載されたため、反響があったそうですが、会場の都合でだいぶ申し込みをお断りしたそうですが、それほどニーズがあるということだと思います。当事者の方はほとんどが社会人の方で、「仕事上困ったことがある」「直接上司にきこえにくさがあり、仕事を配慮してほしいことを伝え、配置転換(電話対応が内部書などへ)してもらった」「直接上司や周囲にいいにくいケースもある。その場合、どこに依頼して間に入ってもらえば良いか」「使える機器(音声を文字に変換するアプリなど)」などの話題があり、ご苦勞をされてきたことがうかがえました。

聴力は正常範囲のために理解されにくいのが、LiD/APDです。今後もこの当事者の会は継続し、周知をはかるとのことです。*この状態の人は、日本には推定で240万人とされています。(Signia Hearing Aid HP より)